



平成20年9月30日

各 位

会社名 株式会社カンセキ
代表者名 代表取締役社長 長谷川静夫
(JASDAQ・コード9903)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理部長 高橋 利明
電話 028-659-3112

平成21年2月期中間期末の有価証券評価損に関するお知らせ

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成21年2月期中間期末において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成21年2月期中間期末の有価証券評価損の総額 (連結)

(A) 平成21年2月期中間期末の有価証券評価損の総額	49百万円
(B) 平成20年2月期の純資産の額 (A/B×100)	4,185百万円 (1.2%)
(C) 平成20年2月期の経常利益の額 (A/C×100)	85百万円 (58.6%)
(D) 平成20年2月期の当期純利益の額 (A/D×100)	55百万円 (89.7%)

(個別)

(A) 平成21年2月期中間期末の有価証券評価損の総額	49百万円
(B) 平成20年2月期の純資産の額 (A/B×100)	4,192百万円 (1.2%)
(C) 最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	161百万円 (31.0%)
(D) 最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	40百万円 (124.3%)

(ご参考)

当社の中間期末は、8月31日です。

当社は平成19年8月中間連結会計期間より連結財務諸表作成会社となったため、連結につきましては平成20年2月期における経常利益および当期純利益を記載しております。

個別につきましては、最近終了した事業年度の経常利益および当期純利益が10億円未満のため、経常利益額および当期純利益額は、最近5事業年度の平均となっております。(赤字の年度はゼロにて計算)

2. 業績の影響

当社はこの評価損を平成21年2月期中間期において特別損失を計上いたしますが、平成21年2月期中間期および通期の予想については現在精査中であり、確定次第開示いたします。

以 上